

12月10日(日) 第二礼拝「富の移動とイスラエル」 出エジプト3章19-22節

神様はエジプトで400年間奴隷だったイスラエルの民を解放しました。そして彼らはエジプトから出る時、手ぶらではなくエジプトの富をはぎ取って出てきました。その理由は、彼らを通して救いの家(罪が赦されるための神の家)、神の臨在される家を建てるためでした。

第一番目、間違った富の使用です。彼らはエジプトからはぎ取ってきた富で金の小牛を作り、3000名が死んでしまいました。その後悔い改めて神様から示された幕屋を建てました。幕屋を通して罪と呪いが赦され、至聖所に血が注がれ、主がその場所に臨在し主と会見できるようになりました。これが富の目的でした。ソロモンの神殿もそのようなものでした。ソロモンは神様から知恵や富、栄光を与えられましたが、それを使って偶像を集め神殿に安置してしまいました。その結果国は二つに分裂し、後に北イスラエルはアッシリアに滅ぼされ、南ユダはバビロンに移され捕虜となりました。その70年後ペルシャのクロス王は主に示されて第二神殿再建のために立ち上がり、再建のための財政を支援し、エルサレムに神殿器具など移動しました。このように、神様は罪が赦され、呪いから解放される場所(神殿)を愛されているのです。しかし、現在フリーメーソン、イルミナティ(自称ユダヤ人)は一つの政府を作り、宗教を一つに統合し、電子マネーという統一通貨を流通させるために動いています。これは全世界の人々を奴隷にして圧迫しようとする統制社会です。また、第三神殿が彼らのお金で建てられ、反キリストがそこに座ります。これは間違った富の使用でありバビロンのシステムです。主はそのバビロンから出てきなさいと言われます。

第二番目、神様の国の富の使用です。ヨハネ2:19 第二の神殿に対してイエス様は「この神殿をこわしてみなさい。わたしは、三日でそれを建てよう。」と言われました。神殿とは罪が赦され救われる場所です。イエス様(本当の神殿)が天から降りて来られご自分の血で罪の贖いをしてくださいました。神様はその神殿のために働く人々に天の御国の富を与えてくださり、その栄光の富と共に地上で神様の働きができるように祝福されます。神様は宣教を通して人々が救われることを強く願っておられます。

第三番目、イスラエルの救いと再臨です。イスラエルの救いも異邦人の救いも同じです。イエス様の血潮を信じる信仰で救われるのです。イエス様の血潮は天の富であり、神の栄光です。ローマ11:25-26「イスラエル人の一部がかたくなになっただけは異邦人の完成のなる時までであり、こうして、イスラエルはみな救われるということです。…救う者がシオン(エルサレム)から出て、ヤコブから不敬虔を取り払う。」天地万物を造られたイエス様は富んでおられたのに、私たちのために十字架にかかり貧しくなられました。そのイエス様の貧しさによって私たちは罪の赦し、復活の富を得ました。そしてペンテコステ(聖霊降臨)で私たちを満たしてくださいました。また、イエス様が来られる時(再臨)、天のエルサレムが来ると言われます。この世の富で作られた反キリストの神殿と天のエルサレムの神殿が比較され、ユダヤ人や異邦人も栄光の主を信じるようになります。アーメン！